

## 第1回門川町庁舎跡地利用検討委員会 会議録（抜粋）

会議名：第1回門川町庁舎跡地利用検討委員会

日時：令和1年12月19日（木）13：30～15：30

場所：門川町役場3階会議室

出席者：出席者（委員）18名、欠席者（委員）3名

傍聴者（報道関係者）2名

### 【議事内容】

1. 開会（13：30開始）
2. 委嘱状交付
3. 町長あいさつ（安田町長）
4. 委員・事務局紹介
5. 庁舎跡地利用検討委員会設置要綱について
6. 委員長、副委員長の選出  
岩佐誠委員長、黒木洋子副委員長を選出
7. 諮問
8. 議題
  - （1） 庁舎跡地利用検討事項事業について
    - ・ 委員会の役割・スケジュールについて
    - ・ 現庁舎に係るこれまでの経過・概要について
    - ・ 現庁舎に係る関連計画における位置づけについて
  - （2） 他市町村の跡地利用検討事例について
  - （3） 「庁舎跡地利用のあり方」提案書提出依頼について

### 【主な質疑応答、意見】

委員；現庁舎は、津波浸水区域になっているが、その影響はどの程度か。

事務局；高さ最大5メートルで、庁舎2階に届く津波浸水が想定されており、防災拠点としての機能が危惧されています。

委員；町の公共施設等総合管理計画では、施設ごとにどのような方向性で取り組むのか。

事務局；管理計画は、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配費を実現するもので、現在、個別施設計画の中で施設ごとの計画を立てており、今年と来年の2ヶ年で策定、完成すれば、皆様にお示しします。

委員；更地にして、住宅地として売却する場合、解体費用と土地の売却価格はどのくらいかかるのか。

事務局；解体費用については、近隣市町村の解体費用を参考に試算しますと、約1億円を見込んでいます。また、土地の売却価格は、路線価を参考に試算しますと、約2億円を見込んでいます。

委員；住宅地として売却しても、町の活性化には繋がらないと思います。周辺の商店も減収し、商店街も寂しくなっています。「商業施設」にすれば、活性化に繋がるのではないかと考えます。

事務局；「庁舎跡地利用のあり方」の提案については、その方向性の案など皆様の自由なご意見をお聴きしたいと考えます。各委員さんの意見を元に、今後の議論を進めたいと考えています。

委員；新庁舎建設時に、庁舎跡地についても町民の意見を聞くことが多かった。その中で、「道の駅」や中高校生が集まる「イベント広場」の意見がありました。そのことを踏まえて、町が活気づく場所、ワクワクする場所になればと考えます。

委員；上町の班長会で、跡地についてアンケート調査を実施しました。その中での意見は、道の駅、交通ターミナル、避難場所でした。

委員；文化財の資料館はあるが、行きづらい。文化財施設も必要ではないか。また、町民や観光客が集まる場所が良いのではないか。活性化にも繋がるのではないか。

委員長；委員会の進め方としては、諮問にもありましたとおり、基本構想、基本計画の2つの事項について、議論を進めることとなります。

委員；若い世代の意見としては、10代・20代の若者が集まれる場所を作っていけたらと思います。

委員；商工会としては、まだ白紙の状態であります。

委員；提案書を提出するにあたり、この建物はこのままで使っていけるのか。耐震化をしているがどのくらいもつのか。

事務局；平成15年に耐震補強工事を行なっていますが、16年ほど経過しているため、使用期間は限られているという認識でご検討いただきたい。

## 9. その他

次回の開催日程について

## 10. 閉会（15：30終了）